



MON Nara 通信



Numéro 15

Association Franco-Japonaise de Nara 奈良日仏協会

AVRIL 2023 4月

これからの催しご案内

第153回 フランス・アラカルト

「イギリスとフランス～奈良国際交流員エマ・ホールズワースさんをお迎えして」

- ❖ 日時: 2023年6月10日(土) 14:30～17:00
- ❖ 会場: 生駒市コミュニティセンター 4F 401号室
- ❖ 参加費: 会員 200円、一般 700円
- ❖ 申込先: sugitani@kcn.jp TEL: 090-6322-0672
- ❖ ゲスト: エマ・ホールズワース(Emma Hordsworth)さん
※当日はフランス語と日本語でお話をさせていただきます。



リヨンの街

- ❖ エマ・ホールズワースさんの略歴: リヨンに生まれ、大学入学と同時にイギリスに移住。日本には、子どもの頃ジブリ映画を見てから関心を持ち、京都に9カ月滞在して、アルバイトをしながら日本語を勉強。その後、ロンドン大学で本格的に日本語と国際関係論を学ぶ。昨年秋から、奈良県の国際交流員(イギリス)として勤務。



- ❖ お話の内容: フランスのリヨンで生まれ育ち、その後イギリスの湖水地方に住み、ロンドンの大学で学んだエマさんから、フランスの第二の都市と言われ、日本でもグルメの町として知られているリヨンを紹介していただくとともに、自然、地理、伝統、政治、価値観、教育、言語、料理など、幅広い分野にわたって、イギリスとフランスの比較をお話しいたします。

第60回奈良日仏シネクラブ例会『ロバと王女』(ジャック・ドゥミ特集②)

- ❖ 日時: 2023年7月30日(日) 14:00～17:00
- ❖ 会場: 奈良市西部公民館5階視聴覚室(予定)
- ❖ プログラム: 『ロバと王女』(Peau d'Âne, 1970年, 90分)
- ❖ 監督: ジャック・ドゥミ
- ❖ 参加費: 会員 200円、一般 300円
- ❖ 問い合わせ: Nasai206@gmail.com tel. 090-8538-2300(浅井)
- ❖ プレゼンターよりのメッセージ: ジャック・ドゥミ特集の2弾目として、ミシェル・ルグランの音楽、カトリーヌ・ドヌーブの主演によるミュージカル『ロバと王女』(原題「ロバの皮 Peau d'âne」1970年)を取り上げます。同じトリオにより制作された『シェルブールの雨傘』(1964年)『ロシュフォールの恋人たち』(1967年)に続く作品ですが、前二作がドゥミ自身により脚本が書かれたのに対して、こちらは原作があります。「眠れる森の美女」などで知られるシャルル・ペロー『昔話集』(17世紀末)のなかの一篇「ロバの皮」で、フランスではよく知られた物語です。ただ、内容が近親相姦的欲望を描いたものなので、日本の子ども向けの本には収録されていないようです。この題材をもとに、ドゥミは、華麗な色彩で繰り広げられる魅惑的な恋愛ファンタジーを作り上げました。フランス国内の観客動員数は220万人にのぼり、ドゥミ最大のヒット作となりましたが、きっと家族連れが映画館へ詰めかけたのでしょう。(三野博司)



活動記録

★2月26日(日):第59回日仏協会シネクラブ例会『ローラ』(ジャック・ドゥミ特集①)

★3月18日(土):第152回フランス・アラカルト「多言語国家スイスでの暮らし」講師:トリストラン・クレマン
いずれも詳細報告は、Mon Nara 6月号をご覧ください。

今後の活動 表ページの二つ以外に下記の活動を予定しています。

★7月上旬予定:美術クラブ鑑賞会「ルーブル美術館展」(京都市京セラ美術館)

その他、ガイドクラブ、秋の教養講座など、多彩な企画が現在進行中です。

また、来年、奈良日仏協会は創立30周年を迎えます。それを記念した行事の企画もいろいろと検討しています。ご期待ください！

《2023年度第1回理事会報告》…事務局

★日時:2023年3月16日(木)15:00~16:55。★場所:野菜ダイニング「菜宴」。
★出席者:三野、浅井、中辻、藤村、高松、喜多、藺田、三木、杉谷。
★議題 1. 2023年度会費納入額・会員数。
2. 前回理事会(1/12)後の活動:2023年度総会(2/11)、第59回シネクラブ「ローラ」(2/26)。
3. 今後の行事:第152回フランス・アラカルト「多言語国家スイスでの暮らし」(3/18)、第153回フランス・アラカルト「奈良県国際交流員エマさんを迎えて」(6/10)、第60回シネクラブ「ロバと王女」(7/30)、秋の教養講座、美術クラブ鑑賞会、ガイドクラブ。
4. 30周年記念行事検討。
5. Mon Nara、Mon Nara 通信。
6. その他:フランス総領事主催「桜咲く4月1日アペリティフ」(4/1)、講座表掲載基準、音楽分野の活動について。
7. 次回理事会:2023年5月25日(木)15:00~16:30「菜宴」。



後記

★Mon Nara 通信4月号と会員名簿・会則をお届けします。★次回のフランス・アラカルトでは、リヨンご出身のエマ・ホールズワースさんにお話しいただきます。リヨンと言えば、永井荷風が、横浜正金銀行の社員としてリヨン支店に勤務し、リヨンが舞台の一つになっている『ふらんす物語』を書いたことでも知られています。当時のリオンは、絹交易で栄えて、世界の金融の中心地となっていて、日本の領事館もあり日本人が多く住んでいたようです。領事の娘が後に、キク・ヤマタという名前でフランスの作家となり、ヴァレリーに序文を書いて貰ったりレニエから好評を得たのは、矢島翠『ラ・ジャポネーズ—キク・ヤマタの一生』(ちくま文庫)に詳しいですので、ご興味のある方は読んでみてください。また大阪の稲畑産業の創業者稲畑勝太郎が、リオンに留学時、工業高校でリュミエール兄弟の兄と同級となり、その縁で、彼らの発明した映画の機具を買い、大阪で日本初の興行を行ったというのも、映画ファンならおなじみでしょう。ちなみに、現在の大阪日仏協会の前身の組織を創ったのも稲畑氏。私の場合は、学生時代に『ふらんす物語』を読み、荷風がリヨンの夜の街をふらついて寄席を冷やかしたり、リヨン郊外の見世物で蛇使いの女を見たりする場面に接して、いつかはリオンへ行って同じようなことをしてみたいと、憧れたものです。ヌーベル・キュージーヌのポール・ボキューズの本拠地でもあり、リオン生まれのギニョールという子ども向きの人形芝居が今も盛んと聞いています。残念ながら、まだリオンには行ったことがありません。行きたい所が沢山あり過ぎて困っていますが、いつかぜひ行きたいと思っています。(杉)

- ◆当協会では**会員を募集**しております。お申込み、お問合せは下記事務局まで。
- ◆Mon Nara 誌への投稿、とくに新鮮で多様な話題、直近のフランス情報などを歓迎します。誌面の都合でご相談のうえ表現を変えさせていただくことがあります。Mon Nara 6月号は5月31日が原稿締切日です。
- ◆会員のみなさまで「Mon Nara」(2月、6月、10月発行)、または「Mon Nara 通信」(4月、8月、12月発行)に**チラシ同封を希望される方は**、1)内容がフランスに関わるもの、2)本人または代理人が発送作業に参加、の二つの条件を満たせば同封可能ですので、下記事務局までお問い合わせください。

Mon Nara 通信 2023年4月 numéro 15

奈良日仏協会 Association Franco-Japonaise de Nara

HP : <http://www.afjn.jp> E-mail : nara.afj@gmail.com FAX : 0742-62-1741

〒630-8226 奈良市小西町 19 マリアテラスビル 2F 野菜ダイニング菜宴[郵便物のみ] 発行責任者:三野博司